(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2007-220143
(P2007-220143A)
(43)公開日　平成19年8月30日(2007.8.30)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
G06Q 30/00	(2006.01)	G06F 17/60	310E	
G06Q 50/00	(2006.01)	G06F 17/60	326	
		G06F 17/60	334	
		G06F 17/60	114	

審査請求 有　請求項の数 11　ＯＬ　（全 12 頁）

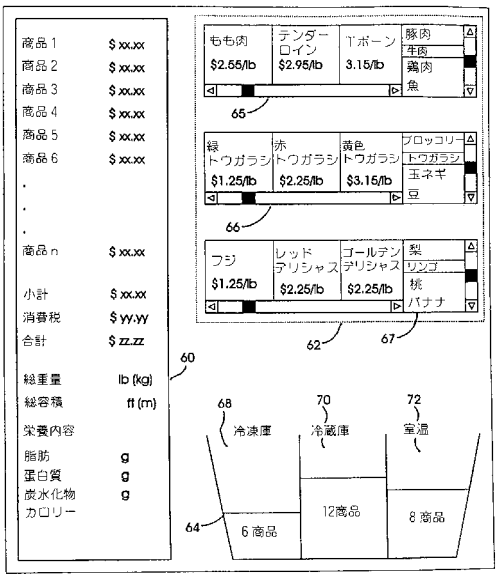
(21)出願番号　特願2007-128434 (P2007-128434)
(22)出願日　平成19年5月14日 (2007.5.14)
(62)分割の表示　特願2000-706 (P2000-706) の分割
原出願日　平成12年1月6日 (2000.1.6)
(31)優先権主張番号　09/257851
(32)優先日　平成11年2月25日 (1999.2.25)
(33)優先権主張国　米国 (US)

(71)出願人　000005223
富士通株式会社
神奈川県川崎市中原区上小田中４丁目１番１号
(74)代理人　100077517
弁理士　石田　敬
(74)代理人　100092624
弁理士　鶴田　準一
(74)代理人　100082898
弁理士　西山　雅也
(72)発明者　松森　邦彦
神奈川県川崎市中原区上小田中４丁目１番１号　富士通株式会社内

(54)【発明の名称】ホーム・ショッピング・システム及びその方法

(57)【要約】
【課題】効率的な配送及び引き取りのための商品分類を行なう食料雑貨品ホーム・ショッピング・システム及び方法を提供する。
【解決手段】インターネットで販売される商品はサーバのＰＬＵテーブルに収録され、各々が重量、寸法、貯蔵環境値、そして栄養内容表示と関連している。商品が購入するために選択され、仮想の買い物かご６４に入れられると、ユーザは物理的特性、貯蔵環境、または栄養内容表示に応じて仮想の買い物かご６４の中身を評価することができる。引き取り又は配送を指定された物品は、その寸法と重量の値に従って包装され、貯蔵環境値に応じて適切な貯蔵環境施設に貯蔵される。
【選択図】図６

図6



【特許請求の範囲】
【請求項１】
インターネット接続のために構築されたパーソナル・コンピュータ・システムを含む、インターネットを基盤としたホーム・ショッピング・システムであって、
インターネット接続アプリケーション・プログラムを宿すよう構成され、インターネット通信インターフェースとコントロール・プロセッサとを含む店舗サーバと、
商品を特定する情報と、各商品毎の価格及び寸法を表すデータを収録し、更に前記商品の貯蔵に適した環境を表す、冷凍庫コード、冷蔵庫コード及び常温貯蔵コードを含む貯蔵環境コードを収録しているＰＬＵデータベースと、
前記インターネットに接続された前記パーソナル・コンピュータの表示画面上で消費者が選択した商品について前記ＰＬＵデータベースを検索することによって取得した商品の重量と大きさを含む商品情報値を総計する総計手段であって、更にパーソナル・コンピュータ・システムの表示画面に総計された値を表示させる手段を含み、それにより消費者が電子注文の大きさ及び重量の特徴を視覚的に判断することができる総計手段、を含むシステム。
【請求項２】
注文品を構成する個々の商品が各々共通の貯蔵環境群内に分けられるように、貯蔵環境コードに従って電子注文を分類する手段、を更に含む請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
共通の貯蔵環境群に分けられた注文商品が、貯蔵環境コードによって指定された環境に貯蔵される請求項２に記載のシステム。
【請求項４】
商品情報値の総計手段がアプリケーション・プログラムを含む請求項３に記載のシステム。
【請求項５】
購入するために選択された商品が貯蔵される電子貯蔵エリアを含む仮想買い物かごを、更に有する請求項４に記載のシステム。
【請求項６】
前記ＰＬＵデータベースには、各商品毎の商品の重量、寸法を収録し、
重量、寸法及び環境要件の表示の選択に従って、消費者が仮想買い物かごの中身を配置し、見られるようにするため、商品の重量、寸法及び環境要件の表示に従って、仮想買い物かごに入れられる商品を系統立てる手段、を更に有する請求項５に記載のシステム。
【請求項７】
マスターＰＬＵデータベースが、更に各商品と関連した栄養内容表示を収録しており、栄養内容表示の消費者の選択による栄養内容に従って、仮想買い物かごの中身を系統立てる手段、を更に有する請求項６に記載のシステム。
【請求項８】
商品注文がインターネットのネットワークを介して店舗サーバに転送される、インターネットを基盤としたホーム・ショッピング・システムにおいて、
店舗に貯蔵される個々の商品に重量、寸法及び環境要件の表示を割り当て、
前記商品表示情報を店舗サーバ上に宿されるＰＬＵテーブルにし、
仮想買い物かごの中身に購入するために選択された各商品を加え、
消費者が仮想買い物かごの中身を見られるようにするため、商品の重量、寸法及び環境要件の表示に従って仮想買い物かごに入れられる商品を系統立てて、選択された商品を複数のカテゴリに分類する方法。
【請求項９】
ＰＬＵテーブルが各商品に関連した栄養内容表示を更に含み、消費者の栄養内容表示の選択を受ける栄養内容表示に従って仮想買い物かごの中身を系統立てる過程を更に有する請求項８に記載の方法。
【請求項１０】

消費者の環境要件の表示の選択をうけて、仮想買い物かごの中身を共通の環境貯蔵群に分類する過程を更に有する請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
消費者の環境要件の表示の選択をうけて、共通の環境貯蔵群に分類された商品を貯蔵する過程を更に有する請求項１０に記載の方法。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明はホーム・ショッピング・システムに関する。更に詳しくは、受注商品をより効率的に配送及び／または引き取りができるように、購入のために選択された商品を重量や体積、環境要件などの観点から分類することが可能な遠隔ショッピング及び発注システムに関する。
【背景技術】
【０００２】
過去数年に渡り、多忙な人々の間で、ホームショッピングを促進するシステムや方法が普及している。顧客が小売店に足を運び、例えば食料雑貨品店で時間を費やす必要がなく、一あるいは複数の商業者から多様な商品を直接注文できるような、様々なホーム・ショッピング・システムや遠隔発注システムが開発されてきた。
【０００３】
このようなホームショッピング、または遠隔発注システムに関連するものとしてテレビによるホーム・ショッピング・ネットワークがあり、ここでは潜在的な顧客が遠方で見られるように商品が表示される。ある顧客が提示された商品のいずれかの購入を希望する場合は、顧客はネットワークの電話番号に電話をかけ、オペレータに商品を注文し支払方法の情報を伝える。例えば、購入価格は自動的に顧客のクレジットカードから引き落とされ、注文された商品は２、３日後に郵送で配達される。
【０００４】
このようなシステムは、小売店を訪れる場合に対して比較的安価な選択肢を提供する一方で、注文を追跡したり編集するために必要である適当な情報を顧客に提供することはできず、また更には、所望の製品を選択するためのよりタイムリーな方法を提供することもできない。テレビによるホーム・ショッピング・ネットワークを通して販売される商品は、ネットワーク製作者が決めた順番で提示される。顧客は多くの場合、興味がある商品が出てくるまでかなりの間待たなければならない。
【０００５】
同時に、関連のウェブサイトで商品やサービスを提案する販売者の増加に伴い、インターネットを通したホームショッピングが益々人気となっている。インターネットによるホーム・ショッピング・システムは、全ての販売商品に対して潜在的な顧客がアクセスできるので、テレビによるホーム・ショッピング・システムに比べてかなり柔軟で、かつユーザフレンドリである。購入を行うためには、顧客は編集された商品一覧から選択するだけでよい。顧客が一旦特定の商品を選択すると、商品は「仮想買い物かご」に入り、顧客は「仮想商店」内を回る間、そのかごを持ち歩くことができる。顧客が買い物を終えるまで、購入のために選択された商品は買い物かごに入れられる。仮想買い物かごはいつでも点検することができ、中身は顧客によって編集または削除できる。
【０００６】
顧客が買い物を終え所望の商品を購入する用意ができると、仮想買い物かごはユーザーが理解できるような製品やサービスの一覧として機能し、商品名、製造業者、商品の大きさや価格などの識別値を有する。顧客は購買取引の実行を決めると、仮想買い物かごの中身を印刷して取引記録のハードコピーを入手することができる。
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００７】

インターネットによるホーム・ショッピング・システムは顧客に多大な柔軟性を提供する一方で、とりわけインターネットによる食料雑貨品のショッピングシステムは、特に引き取りや配達の選択に関して不利な点がある。例えば、顧客が食料雑貨品店を訪れて食料雑貨品を購入する際には、買い物カートの中身を確かめ、カートからあふれないように、または手に負える重さを超えないように買い物を続けることができる。顧客は、買い物カートを視覚的に確認し、それにより購入を決定することによって買い物の量を調整する。

【０００８】

インターネットによる食料雑貨品の買い物の場合、「仮想買い物カート」に入っている商品の総重量や総容量を確定することは、顧客にとって非常に困難である。仮想買い物カートの容量は無限であるため、顧客が貯蔵用のスペースを超える量の商品を注文してしまうのも無理はない。

このような困難さは、多くの注文された商品が、例えば冷凍、冷蔵、または室温での貯蔵など特定の貯蔵環境を必要とする場合を考えると理解しやすい。顧客は、注文する商品が冷蔵庫や冷凍庫などのスペースに入るか判断できなければならない。

【０００９】

このように、インターネットによるホーム・ショッピング・システムの顧客に適当な重量や容量に関する情報を提供し、それにより仮想買い物かごの中身をまとめ、及び／または編集可能にする手段が必要とされている。このような重量や容量に関する情報提供に加え、インターネットによるホーム・ショッピング・システムは、顧客が受け取る商品のために十分なスペースを準備できるように、購入商品をその貯蔵環境上の要件に応じて分類できるようにすべきである。このような情報を利用することにより、食料雑貨品店は適切な包装を行い、顧客が商品を受け取りに来るまでの間、受注商品を適切な環境で貯蔵することができる。食品小売業者が配達も行う場合、冷凍室や冷蔵区画など配送車内の適切な区画で、分類された商品を貯蔵することができる。

【課題を解決するための手段】

【００１０】

顧客が効果的な購入決定を行い、品物を受け取るために適切な貯蔵スペースを準備できるように、購入商品を重量、寸法、貯蔵環境や栄養内容の表示によって分類できる、インターネットによるホーム・ショッピング・システムである。このインターネットによるホーム・ショッピング・システムは、インターネットに接続ができ、所望の小売店のサーバと通信できるパーソナルコンピュータを含む。店舗サーバはインターネット接続用アプリケーションプログラムを宿し、インターネット通信インターフェース、制御処理装置、及び大容量記憶装置を有する。マスターＰＬＵデータベースは大容量記憶装置に記憶され、特定の商品に各々関連づけられた商品の識別、価格、重量及び寸法の値を表すデータを格納する。ＰＬＵデータベースは更に、商品に対応して適切な貯蔵環境を識別する貯蔵環境値を有する。

【００１１】

本発明の一つの面では、消費者はインターネットを通して店舗サーバにアクセスし、様々な製品を購入するために、そのような目的で提供されているメニューの中から選択する。購入する商品が選択されると、アプリーケーションプログラムは、商品識別、価格、重量及び寸法の値を含む商品情報値を集計するための手段を有する取引ログファイルを開き、それを維持する。アプリケーションプログラムは更に、集計した値を家庭のパーソナル・コンピュータ・システムのディスプレイ画面に表示する手段を有し、これにより消費者は、少なくとも電子発注したものの大きさや重量の特徴を視覚的に判断できる。

【００１２】

本発明では更に、アプリケーションプログラムは、注文を構成する個々の商品が共通の貯蔵環境群に分けられるように、電子注文を貯蔵環境値に応じて分類するための手段を有する。共通の貯蔵環境群に分けられた商品は、その後、冷凍室コード、冷蔵室コード、室温貯蔵コードなどの貯蔵環境コードによって指定される環境で貯蔵される。このような方法では、食料雑貨品店は注文された商品を適切に包装し、顧客が注文商品を受け取りに来

るのを待つ間、または顧客の自宅へ商品を配達する間に、適切な環境で貯蔵することができる。

【００１３】

本発明の更に付加的な面においては、電子発注を構成する商品は仮想買い物かごに分類され、家庭のパーソナル・コンピュータ・システムのディスプレイ画面を通して顧客に表示される。仮想買い物かごにより、顧客は発注したものの容量や、様々な貯蔵環境領域に割り当てられた商品の個数について視覚的な表示を見ることができる。有利なことにこのようなシステムは、過度の買い物を避けるために、容量制限のない仮想買い物カートを監視できるような手段を提供する。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１４】

本実施形態はインターネットによるホームショッピング用のコンピュータシステムに関連し、顧客はこれにより仮想食料雑貨品店内を見回り、購入する商品を選択し、取引を実行する前に仮想買い物カートに選択した商品を配置する。購入された商品は、その貯蔵環境上の要求を含む様々な分類に配置される。買い物客が各分類に配置された商品の総量を直ちに認識できるように、仮想買い物かごが買い物客の画面上に商品を表示するように設定されている。加えて、店舗で在庫となっている各商品に対し、様々な重量や寸法の値が付与されている。仮想買い物の間、買い物客は、仮想買い物かごに入っている品物の総重量や体積に従って、自分の買い物の量を判断することができる。

【００１５】

店舗で在庫になっている商品には付加的な値も付与されており、それらは簡単な形式で買い物客に提供される個人向け栄養情報を含む。

図１を参照する。本発明に係わるインターネット・ホーム・ショッピング・システム１０の全体図を単純な、半略的な形式で表している。インターネットによるホーム・ショッピング・システム１０は、家庭１２における使用のために設定された部分と、食料雑貨品店１４などの小売業者に配置される部分との２つの主要部分の構成となっている。家庭部分１２と店舗部分１４との間の通信は、インターネットなどの広域ネットワークを介して行われる。

【００１６】

食料雑貨品店との通信を行うために、システムの家庭部分１２は、コンピュータ１８と、グラフィックとテキストの両方の表示に適したモニタ２０とを有する。更に、マウスやトラックボール、スタイラスなどのポインティングデバイス２２によって、コンピュータシステムに入力が行われ、ユーザがアプリケーションプログラムを操作したりモニタ画面２０上に描かれる様々なメニューからの選択を行う手段の一つを定める。ポインティングデバイス２２に加えキーボード２４も具わっており、ユーザがより柔軟な形式で情報を入力し、及び／またはポインティングデバイスにより選択されたある情報を編集することを可能にする。プリンタ２６は領収書のハードコピー発行手段を提供する。

【００１７】

家庭部分１２とネットワーク１６との接続は、本発明の範囲や意図を逸脱しない限り様々な形式で実行できる。特に、ネットワーク接続は、公知である電話線とモデムの組み合わせや、専用のＩＳＤＮ、またはケーブルテレビサービスのある形式を介してインターネットとの接続を提供するケーブルモデム式セットトップボックスにより行うことができる。上述のいずれの場合においても、家庭部分１２のコンピュータ１８は、ネットワーク接続との適当なインターフェースを実行するために、モデムや１０ＢａｓｅＴカード、ＩＳＤＮカードなどの適切な入力／出力カードを備える必要がある。

【００１８】

このシステムは本来、潜在的な消費者が、仮想食料雑貨品店と通信を行うためにインターネットにアクセスすることを必要とするものである。つまり、潜在的な消費者はインターネット接続業者と契約し、自分のコンピュータシステム１８に適当なインターネット・ブラウザ・プログラムを搭載することが望ましい。

インターネット接続の小売店舗部分１４においては、ネットワークサーバとして動作しているコンピュータシステム上で、仮想食料雑貨品店が宿されている。好ましい実施態様においては、ネットワークサーバはコンピュータ２８を備え、図１の実施態様に示されるように、付属のモニタ３０とシステムにデータを入力するためのキーボード３２とを有する。関連の周辺装置を備えたコンピュータ２８は、商店や食料雑貨品店など小売施設内のアクセス可能な場所に設置される。図示されるモニタ３０やキーボード３２に加えて、店舗部分１４は、磁気カード読取り装置やバーコード読取り装置、キーパッド、タッチスクリーン入力装置、及びその他のデータ入力／出力のための公知の手段をも有する。

【００１９】

本発明の原理の実行に従いかつ図２のブロック図で示すように、店舗内のコンピュータ２８は処理装置手段２９を備える。この処理装置手段２９はアプリケーションプログラムの制御の下で動作し、仮想食料雑貨品店のインターネットウェブページを宿し、店舗の在庫管理を宿しかつ維持し、多様な消費者の選択や購買取引を宿し維持するように設定されている。処理装置は、通信入力／出力手段３１を介して消費者により入力される個人データと、その特定の消費者が購入を希望している様々な製品を含む仮想買い物かごとを関連させる。

【００２０】

商品情報は、ＰＬＵ（Ｐｒｉｃｅ　ＬｏｏｋＵｐ：価格照合）と呼ばれるデータベースにおいて表形式で格納される。ＰＬＵデータベースは、ハードディスク装置など容量の大きい大容量記憶装置３４に格納されるか、あるいは容量の大きいＲＡＭやその他の大容量記憶媒体に格納されてもよい。いずれの構成においても、大容量記憶装置３４は、本発明のシステムを実施するために有益である多数の特定目的でつくられたデータベースやファイルを宿している。特定のデータベースやファイルは価格照合ファイル（ＰＬＵ）３５と、多数の取引ログファイルと、人口統計学的情報、個人的な好み、個人プロフィールその他、各々の顧客に特定な情報を含む顧客データベースとを備える。大容量記憶ユニット３４が顧客データベースを含むような設定の場合には、特定顧客の各データレコードは、顧客ＩＤと呼ばれる独自の顧客識別番号によって識別され、この識別番号と関連づけられるべきである。以下に詳しく説明されるように、各顧客のＩＤ番号は顧客を識別し、店舗のコンピュータシステム２８が仮想買い物かごと関連する取引ログファイルとを特定の顧客に結びつけることを可能にし、その特定の顧客データレコードにネットワークサーバの大容量記憶装置３４からアクセスできるようにする。

【００２１】

図３に示されるように、ＰＬＵテーブル４０は、一式の商品特有情報を有しており、これらは様々な方法で調整が可能であるが、最も有益には、各エントリが特定の商品に割り当てられた連続エントリとして設定される。特定商品のエントリには、在庫保有単位（ＳＫＵ）番号や万国商品コード（ＵＰＣ）番号など、店舗の商品識別子が含まれる。これらは図３の実施態様では商品のバーコードデータ４２として表されており、適切な変換方法により商品のバーコードデータは特定商品の万国商品コード（ＵＰＣ）と同一であると識別される。

【００２２】

ある特定商品のエントリは、更に商品分類フィールド４４を含み、それはその商品が属する肉、野菜、乳製品、果物などの特定の食品群分類を識別する文字列で実現される。製品名または商品情報フィールド４６も文字列で実現され、それは製品のブランド名や商品名を識別し、更にKLEENEX （登録商標）化粧紙といったように製品の一般的な説明も含んでもよい。

【００２３】

バーコードデータ、食品群分類、及び製品名に加えて各商品エントリは更に価格フィールド４８を含む。価格フィールドは更に細分化して、商品価格（１．９９ドル）、を含む商品価格部と、商品の一単位当たりの価格（一個につき２セント）を含む価格比較部を含んでもよい。重量及び寸法フィールド５０、５２は、それぞれ各商品に関連し、商品重量

と商品体積（商品の大きさ）を定める。環境群フィールド５４も文字列で実現され、その特定の商品を貯蔵すべき環境（冷凍庫内、冷蔵庫内、または室温）、を定める。

【００２４】

このように、本発明によると、ＰＬＵファイル４０は特定の物や商品の購入を決定する際に基盤となる必要な情報をすべて含んでおり、すべてが各特定商品のバーコードデータに従って系統づけられている。

図３のＰＬＵテーブル４０の例示的な実施態様を更に拡張して、一般的な栄養データ等の追加、任意情報を含めてもよいことに注意すべきである。

【００２５】

図４に図示するように、図３のＰＬＵテーブルの一部を構成するユーザパラメタ制御フィールド５６は、店舗に貯蔵されている各特定商品に関連する商品情報の追加セットへの電子的な入口である。この商品情報の追加セットを呼び出すことは、ユーザがスイッチパラメタを店舗のコンピュータシステム上のアプリケーションプログラムへ渡して、ユーザがこれらの追加データフィールドを見たいと指示し、コンピュータシステムがそのように処理するようにと指示することによって可能になる。図４に示すように、この追加情報は特定商品の栄養内容に関するいくつかのエントリを含むのが好ましい。エントリは、商品の推奨一人前量、一人前量の脂肪含有量、蛋白質含有量、炭水化物含有量のような栄養情報を含み、食料雑貨品のビタミンとミネラルの含有量のリストを含んでもよい。図４に図示する追加情報で、インターネットによるホームショッピング客が望む食品に関する個々の栄養情報を得られるようになり、その結果、より詳細を知った上での食品選択ができるようになる。例えば、買物客は、食料雑貨品店を実際に訪れて難かしい栄養ラベルを読んで理解しなくても、４種類あるいは５種類の異なるスープ製品のどれが自分の栄養目標に合うのか、を簡単に決めることができる。以下により詳細に記載するように、仮想買い物の最後には、購入食品全体の栄養内容を、仮想買い物かごの重量、体積、環境群と共に、表にしてもよい。

【００２６】

以下により詳細に記載するように、ＰＬＵエントリによって規定された仮想店舗の在庫は、潜在的な顧客がアクセス可能であり、顧客のコンピュータ画面にウエブページの形式で表示される。顧客は様々な商品を購入するために選んで、それらの商品を「仮想買い物かご」に入れることができる。最初に、顧客は固有の顧客ＩＤを入力することで、仮想店舗に自分の認証をさせる。必要なのは、各顧客ＩＤが固有であることと、各顧客ＩＤが店舗ネットワークサーバによって即座に認識されることだけである。顧客ＩＤが受け取られると、ネットワークサーバは取引用サブルーチンを呼び出す。取引用サブルーチンは店舗サーバ上で実行され、取引ログファイルを店舗データベースからロードし、顧客ＩＤを読みとった顧客に割り当てる。

【００２７】

特定商品の例示的なＰＬＵテーブルエントリを、図５に半略図で図示する。エントリは、その特定の商品（すなわちアイダホポテト）、の商品価格データ、重量、寸法、栄養および環境値を含むのが好ましい。各取引エントリは一商品に対応し、取引エントリは継続的に、レシートにおける印刷された取引概要と同じ様な、その時点における総取引概要に合計される。ＰＬＵテーブルエントリは商品リストに加えて、その商品の価格フィールド、商品の重量と体積の情報を含む重量及び寸法フィールド、環境群フィールド、及び商品の栄養情報の入るユーザパラメタで呼び出し可能な拡張フィールドを含むことが好ましい。顧客は自分のコンピュータ端末画面に現れた商品を選択することにより、購入しようとする商品を自分の取引ログファイルに入れることができる。選択した商品は、顧客の望むように増やしたり、減らしたり、削除したりすることができ、それに従って取引ログファイルはエントリを更新する。

【００２８】

インターネットによるホームショッピングシステムの、取引モードにおける例示的な画面イメージを図６に示す。図６から分かるように、代表的な画面イメージは、関連する３

つの部分に更に分けられる。すなわち、取引ログファイルをユーザが見ることができる形式で表示する取引部６０、在庫選択部６２、及び顧客の「仮想買い物かご」６４のグラフィック表現、の三つである。取引ログファイル部６０において、顧客は購入しようと選択した各商品の取引ログファイルデータを視覚的に点検することができ、全購入商品のその時点における価格合計を見ることができる。ある特定の取引を行っている間に、顧客は、エントリをポインティングデバイスで選択する、または、画面のカーソルをエントリの中で上または下にスクロールさせて商品を選択することによって購入エントリを取り消すことができる。商品を選択して、従来の方法でコンピュータの削除キーを叩くと削除される。

【００２９】

取引部６０は、購入しようと選択した商品の総重量と総体積のその時点での合計を更に含み、ユーザが任意の栄養内容情報を表示するように選択した場合には、選択された食品の栄養内容のその時点における合計概要も含む。このように、顧客は自分の食料雑貨品注文の大きさ、範囲および重量を即座にはっきり理解することができ、選択した製品の栄養内容に関して納得のいく決定をすることができる。

【００３０】

食品選択は在庫部６２に現れるメニューから行い、顧客は仮想食料雑貨品店の在庫を食品群分類から探すこともでき、個々の商品から探すこともできる。例えば、在庫部６２が豚肉、牛肉、鶏肉、魚などの肉製品６５を列挙する別のメニュー部を含んでもよい。顧客が、例えば牛肉製品を見たいと選択すれば、仮想食料雑貨品店の牛肉商品を含む個々の商品が追加メニューまたはスクロールウインドウに表示される。これらの個々の商品は店舗のＰＬＵファイルに含有される製品名情報によって識別され、その商品に関連する価格やその他の情報を表示して顧客が購入に際して納得のいく決定ができるようにしても良い。

【００３１】

同様に、野菜６６、果物６７等にも追加メニューを提供し、各商品の食品群分類を顧客が一段階で選択をするように形成して、選択したときに、システムがその食品群分類に含まれる製品をすべて表示するようにしてもよい。他の方法として、在庫部６２を決定木（ｄｅｃｉｓｉｏｎ　ｔｒｅｅ）で規定された一連のカスケードウインドウの形式で系統づけてもよい。第一ウインドウは顧客が選択可能な食品群分類を列挙するだけでもよい。食品群分類が選択されたら、選択ウインドウを拡大して、その分類内にある中間的な、一般的な食品リストを表示する。すなわち、食品群分類ウインドウで野菜が選択されたら、ウインドウを拡大して野菜の種類を列挙する。特定の野菜の種類、すなわちトウガラシ、を選択すると、再びウインドウを拡大して仮想店舗で販売されているトウガラシの種類、つまり、緑トウガラシ、赤トウガラシ、黄色トウガラシ、チリトウガラシ等を列挙する。ポインティングデバイスによってある決まった商品を選択すると、その商品とそれに関連するＰＬＵデータがその顧客の取引ログファイルに入り、画面の取引概要部６０に表示される。それに伴って、その時点での総取引概要、重量及び寸法値及び栄養内容フィールドが、再計算され、再表示される。

【００３２】

顧客の仮想買い物かご６４をグラフィック表示するので、顧客に対して、購入しようと選択した商品の数と量、特定の予め選択された環境状態に貯蔵すべき商品の数と量を視覚的に表示できる。このように、図６の実施態様では仮想買い物かご６４は３部分に細分化され、それぞれの部分はある特定の貯蔵環境要件を示している。第１部分６８は冷凍環境を示し、購入しようと選択した、冷凍状態で保存されることが必要な商品数を図示する。第２部分７０は冷蔵部分であり、購入しようと選択した、冷蔵状態で保存されることが必要な商品数を示す。同じように、第３部分７２は、購入しようと選択した、特定の環境で貯蔵する必要が無く、室温で保存しても良い商品数を図示する。

【００３３】

本発明の実施形態によれば、仮想買い物かご６４の冷凍庫６８、冷蔵庫７０、または室温７２部分のいずれかで図示される情報は、例えば、カーソルが選択部分にあるときにマ

ウスの右クリックを行うことで、ユーザの望むように変えてもよい。マウスを右クリックするとウインドウが開き、ユーザがかごの各環境部の表示内容を選択できるようになる。特に、各環境部をその環境群に対応する商品数、その環境群に対応する商品重量、または、その環境群に対応する商品体積を表示するように構成しても良い。こうすると、仮想買い物客は冷蔵すべき商品が幾つあるかだけではなく、それらの選択商品を自分の冷蔵庫に入れるためにどのくらいの空間が必要かもわかる。ある特定の顧客の取引ログファイルに含まれる商品情報、顧客の情報の必要性に合わせて、いかなる形にでも処理し、表示することができる。

【００３４】

追加的な利点として、本発明の実施形態のこのように分類するという特徴は店舗が引き取り及び配達サービスをする際の助けとなる。顧客が注文を完了すると、在庫係は商品を店舗あるいは倉庫の棚から取り出し、貯蔵環境要件に合わせて商品を区分けできる。顧客の冷凍食品の注文品は包装され、顧客が注文品を引き取りに来るかまたは店舗の配達サービスが顧客に注文品を配達できるようになるまで、冷凍部に貯蔵される。同じように、冷蔵が必要な食品は冷蔵部に貯蔵され、室温の商品は包装され、環境的な制約なしに貯蔵される。これらの特徴は、配達サービス車が冷凍庫、冷蔵庫および室温の貯蔵区画を有する場合に特に有効であり、顧客の注文品の様々な部分を配達中に適切な環境に維持できる。

【００３５】

要約すると、本発明の実施形態に係るシステムと方法は、店舗のインターネットウエブページへの表示に適切な形式でＰＬＵテーブルに保存されている商品情報を含む店舗ネットワークサーバを有する。顧客は買い物を始めようとしたとき、固有の顧客識別コードで自身をサーバに認識させる。それにより、店舗サーバプロセッサは取引ログファイルを開き、ログファイルをその顧客に対応させる。商品は、インターネットを介したアクセスに適切なアプリケーションソフトウエアプログラムを通して顧客に表示され、ホームショッピング客は通常のポインティングデバイスによって位置指定やクリックをするだけで、商品を選択できる。購入する商品が選択されると、様々な情報がＰＬＵテーブルから顧客の取引ログファイルに移り、顧客の情報の必要性に合わせた形式、様式で表示される。顧客に対して表示可能な、関連する追加情報には、個別商品とその時点までの合計の重量と注文品の体積を含む寸法データがある。追加情報は、個別商品とその時点までの合計の栄養内容データを含み、顧客が店舗を訪れて選んだ食品の栄養情報を得る必要なく、自身の栄養目標に合わせるのに適切な形式になっている。商品は、貯蔵すべき環境に応じて更に分けられ、顧客の仮想買い物かごのなかで適切な環境貯蔵部に置かれる。

【００３６】

このように、単なる商品と価格の列挙に加えて、有意義な一連の情報を顧客に提供するデータ整備及び買い物表示システムが電子ホームショッピングの技術にもたらされた。顧客はこのような情報が得られることで、どの製品を買うべきかに関して納得のいく選択ができるだけでなく、購入物の大きさ、重量、範囲を仮想買い物旅行中に判断することができる。

【００３７】

本発明は図示した特定の実施態様について記載してきたが、本発明の属する技術分野の当業者は本発明の主旨や精神から逸脱しない変化形を困難なく考案するであろう。例えば、図示した実施態様ではインターネットと結合したネットワークサーバシステムに関連して説明したが、分散型の一連のネットワークサーバを使用して、本発明から逸脱することなく、同様の効果、効用を得ることができる。更に、店舗サーバシステムと様々なホームショッピング客の間の通信リンクは必ずしもワールドワイドウエブに関連しなくてもよい。専用ネットワークを同じ設備で使用しても良い。

【００３８】

また、ネットワークサーバに情報を保存する方法と情報をある特定の顧客に表示する方法は、上記に記載した実施態様に一致しなくてもよい。むしろ、商品情報は様々な形式のうちの一つで保存されてよく、本発明の主旨と精神を逸脱しない様々な方法で顧客がアク

セス可能にしてよい。必要なことは、各商品が、顧客がアクセスできる一連の重量及び測定値と一連の貯蔵すべき環境値を有し、顧客が自身の購買合計に関する全ての完全な情報を得られることだけである。

【００３９】

このように、本発明は、上記の特定の実施態様に制限されるものではなく、むしろ請求の範囲によって規定されるべきである。

【図面の簡単な説明】

【００４０】

【図１】本発明の実施形態に係わるインターネットによる食料雑貨品ホーム・ショッピング・システムを半略的に示す。

【図２】図１のショッピングシステムのサーバ部分を半略的に示したブロック図である。

【図３】商品一覧をハイライト表示させるＰＬＵテーブルの典型例を半略的に示す。

【図４】図３のＰＬＵテーブルの一部を形成する付加的商品情報を含む、任意のユーザパラメタ制御フィールドである。

【図５】特定商品の重量、寸法、栄養分や環境値をハイライト表示させるＰＬＵテーブルの商品リストを半略的に示す。

【図６】本発明の実施形態に係わる食料雑貨品ホーム・ショッピング・システムの典型的な表示イメージであり、典型的な取引ログファイルを示す。

【図７】本発明の実施形態に係わる食料雑貨品ホーム・ショッピング・システムのフローチャートである。

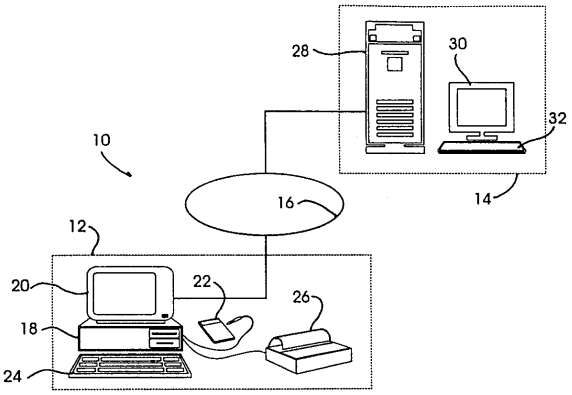
【符号の説明】

【００４１】

１２　家庭部分
１４　店舗部分
１６　ネットワーク
１８，２８　コンピュータ
２０，３０　モニタ
２２　ポインティングデバイス

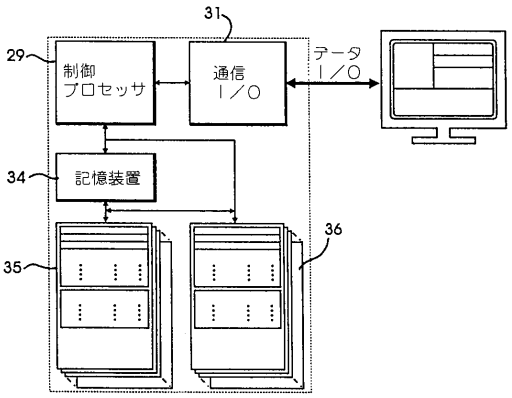
【図１】

図1



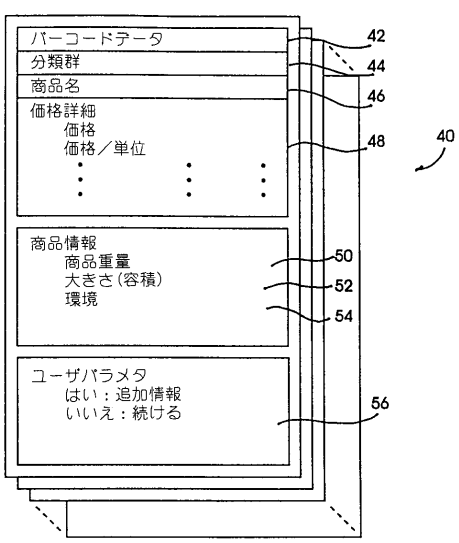
【図２】

図2



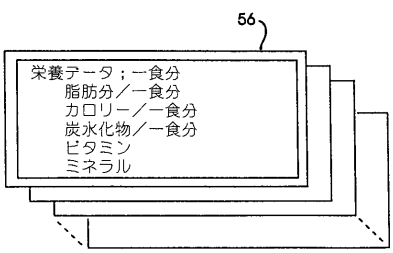
【図３】

図3



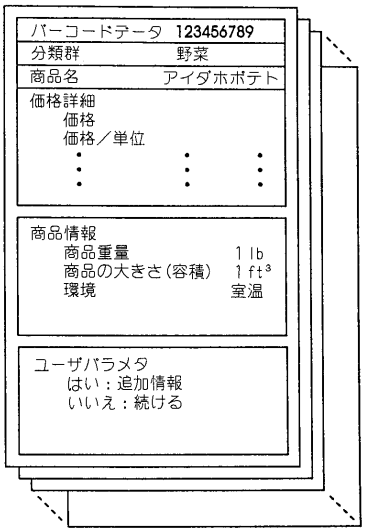
【図４】

図4



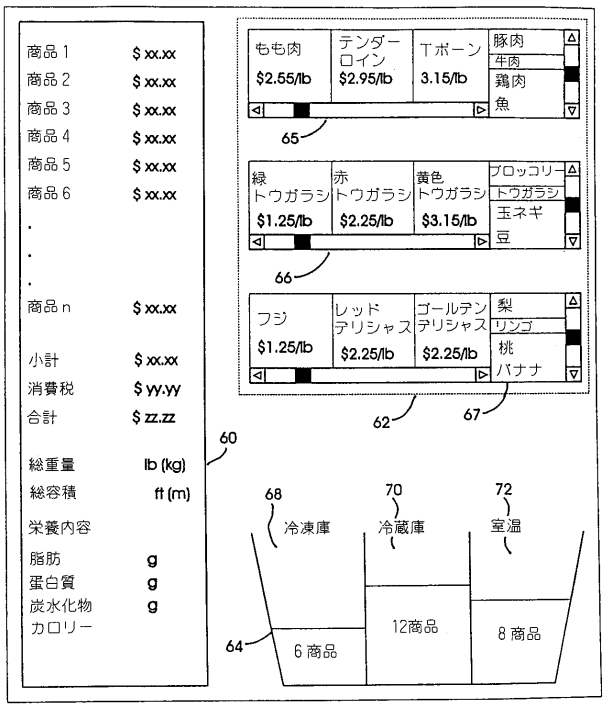
【図５】

図5



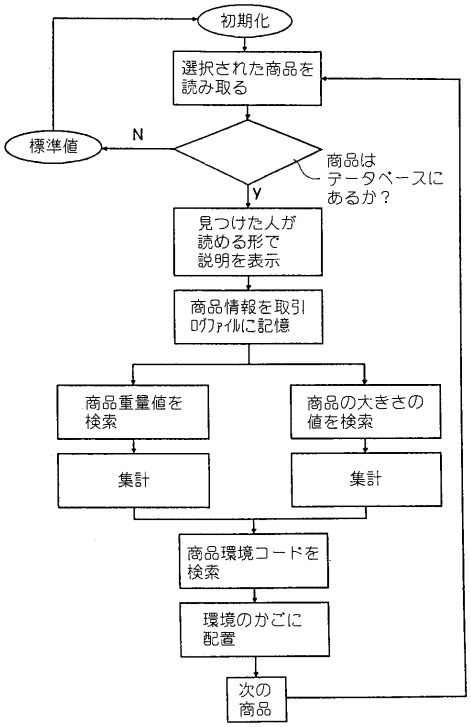
【図６】

図6


商品 1 $ xx.xx
商品 2 $ xx.xx
商品 3 $ xx.xx
商品 4 $ xx.xx
商品 5 $ xx.xx
商品 6 $ xx.xx
商品 n $ xx.xx
小計 $ xx.xx
消費税 $ yy.yy
合計 $ zz.zz
総重量 lb (kg)
総容積 ft (m)
栄養内容
脂肪 g
蛋白質 g
炭水化物 g
カロリー
もも肉 $2.55/lb
テンダーロイン $2.95/lb
Tボーン 3.15/lb
豚肉
牛肉
鶏肉
魚
緑トウガラシ $1.25/lb
赤トウガラシ $2.25/lb
黄色トウガラシ $3.15/lb
ブロッコリー
トウガラシ
玉ネギ
豆
フジ $1.25/lb
レッドデリシャス $2.25/lb
ゴールデンデリシャス $2.25/lb
梨
リンゴ
桃
バナナ
60
62
64
65
66
67
68
70
72
冷凍庫
冷蔵庫
室温
6 商品
12商品
8 商品

【図７】

図7


初期化
選択された商品を読み取る
標準値
N
商品はデータベースにあるか？
Y
見つけた人が読める形で説明を表示
商品情報を取引ﾛｸﾞﾌｧｲﾙに記憶
商品重量値を検索
商品の大きさの値を検索
集計
集計
商品環境コードを検索
環境のかごに配置
次の商品